



“リそにゃ”と

確定拠出年金・加入者の皆さまへのお役立ちニュースレター

まなぼ！ Study

2022
August
8月

制度〈基本〉

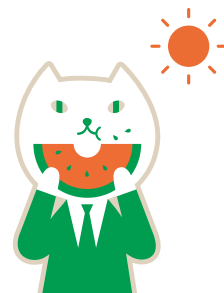
運用・商品〈基本〉

運用・商品〈実践〉

その他

「マッチング拠出」と「iDeCo」、どちらを選ぶ？

2022年10月から、マッチング拠出のある企業型DCの加入者の方は、「マッチング拠出」か「iDeCo」かを個人ごとに選べるようになります。では、どちらを利用したら良いのでしょうか。



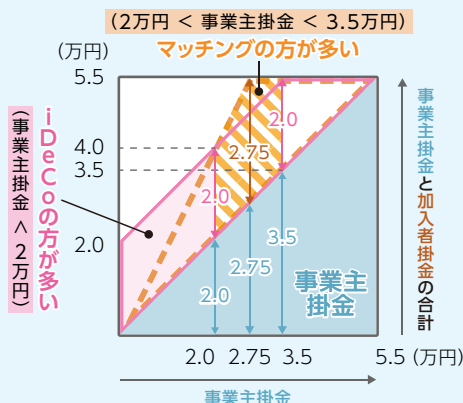
個人で拠出できる額は、事業主掛金の額によって変動します。

マッチング拠出では、事業主掛金と同額が掛金の上限です。一方、iDeCoの掛金の上限は2万円（1.2万円）で、いずれの場合も事業主掛金との合計額が5.5万円（2.75万円）までです。マッチング拠出とiDeCoで、どちらが多く掛金を掛けられるかは、事業主掛金の額によって変わります。

〈制度の比較〉	マッチング拠出	iDeCo 同時加入
掛金の上限	①事業主掛金と同額以下 ②事業主掛金とマッチング拠出掛金の合計が5.5万円以下（2.75万円以下）	①2万円以下（1.2万円以下） ②事業主掛金とiDeCo掛金の合計が5.5万円以下（2.75万円以下）
加入可能年齢	事業主ごとに異なる規約に定められた年齢（60歳～最大70歳）まで	65歳到達まで
加入手続き	会社に申し出	自身で金融機関を選んで手続きを実施
手数料	マッチング拠出による手数料負担なし	加入者が負担
運用商品	企業型DCと同じ商品ラインアップから選択	自身で選んだiDeCoの商品ラインアップから選択
管理方法	企業型DCの1つの口座で管理	企業型DCとiDeCoを別の口座で管理
税制メリット	掛金は全額所得控除、運用益は非課税、受取時は2種類の控除有り 年末調整 不要	掛金は全額所得控除、運用益は非課税、受取時は2種類の控除有り 年末調整 必要（個人払込の場合）
転職時	次の制度へ資産移換が必要	そのまま続けられる（届け出が必要）
受取時期	原則60歳～75歳の間	

※（ ）内はDB等の他制度にも加入している場合

〈掛金をより多く拠出できるのは？〉



DB等の他制度にも加入している場合
5.5万円→2.75万円、3.5万円→1.55万円、
2.0万円→1.2万円
※iDeCoの利用は毎月5千円から

手数料、運用商品、口座管理方法などの違いから判断しましょう。

マッチング拠出に向いている人	iDeCo 同時加入に向いている人
○手続きに手間をかけたくない ○新たに手数料を支払いたくない ○企業型DCの運用商品ラインアップでOK ○企業型DCと同じ口座で管理したい ○まず少額から（5,000円未満で）利用したい	○現時点では、マッチング拠出よりiDeCoの掛金上限が大きく、より多く掛金を掛けたい ○現在の運用商品ラインアップ以外に選択したい運用商品がある ○手数料を負担しても、メリットの方が大きい

例えば、手続きに手間をかけたくない方はマッチング拠出を選ぶ、企業型DCの商品ラインアップ以外で選択したい運用商品がある場合はiDeCoを選ぶ、というふうに、掛金額以外にも選択ポイントがあります。左表をご参考に、ご自身にとってどちらが向いているかをぜひ検討してみましょう。

※ DB等の他制度とは、確定給付企業年金（DB）、厚生年金基金、石炭鉱業年金基金、私立学校教職員共済をいう。

※ マッチング拠出とiDeCoは同時に利用できません。

※ 老齢基礎年金・老齢厚生年金を65歳前に繰上げ請求された方はiDeCoに加入できません。



確定拠出年金サイトも見てみよう！

りそな銀行確定拠出年金サイトでは、企業型確定拠出年金の加入者の皆さまへiDeCoのご案内ページをご用意しております。併せてご覧下さい。

iDeCoのご案内ページはこちら▶

<https://www.resonabank.co.jp/nenkin/ideco/kigyout/>



2022年8月発行

りそな銀行 年金業務部 確定拠出年金室
〒540-8607 大阪市中央区備後町2-2-1

本レターに関するお問合せ先

りそな銀行 確定拠出年金コールセンター
☎ 0120-401-987+「2#」

※海外からは国際フリーダイヤルをご利用ください。

本レターの無断引用・転載はお断りします。